

2025(令和7)年度 授業計画

服飾専門課程 服飾造形科 2年次

目 次

【1】	服飾造形・実習Ⅱ	1201
【2】	立体構成(ドレーピング & パターンメーキング)実習	1202
【3】	卒業制作	1203
【4】	アパレルCGⅡ	1204
【5】	ファッショントキスタイル	1205
【6】	ファッショント画Ⅱ	1206
【7】	クリエイティブデザインⅡ	1207
【8】	パターンメーキング演習	1208
【9】	アパレルCAD	1209
【10】	ファッションビジネスナレッジ	1210
【11】	色彩論Ⅱ	1211
【12】	コミュニケーションスキルⅡ	1212
【13】	プレゼンテーションⅡ	1213
【14】	特別講義Ⅱ	1214
【15】	中国語会話	1215
【16】	ビジネスコンピュータ(応用)	1216

服飾造形・実習Ⅱ

峯岸 恵、齋藤 宣

服飾造形科 2年 通年(前期) 必修 (16単位 演習／実習・実技)

■授業の方針・概要

ドレメ式原型を使用し、制作するアイテムごとのデザインに対する素材や付属の選び方、裁断、フィッティング、パターン修正、縫製等、様々な技術を修得する。視覚的な美しさと用途に応じたデザイン性、機能性、着心地等も追及して造形感覚を養う。産学連携（クリエイティブ実習）・（マーケティングリサーチ）（お直し実習）の授業を「服飾造形・実習Ⅱ」の中で実施する。産学連携授業については別紙シラバスに記述する。

■到達目標（学修成果）

服種のデザインから制作までを一貫して行ない、立体構成（パターンメーキング＆ドレーピング）実習Ⅱ、アパレル生産技術実習の授業と連携を持ち、アパレル業界で行われている既製服の物作りも学び、自らのデザインを具現化出来るようになる。¹年次で修得した服飾造形の知識・技術の向上とデザインのオリジナリティーと感性を高め、クウォリティの高い作品製作を目指す。また、検定試験の資格取得も目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、卒業に必要な科目。制作するアイテムごとにコンセプトやデザインを検討し、研究することで確かな技術と優れた作品制作へ繋がる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

製図、縫製仕様書、ポートフォリオ、作品等の課題は、点検・採点後に返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	10%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

ドレメ式原型、PATTERN MAKING I・II、SEWING I～IV、基礎テキスト

■参考文献

Doreme NEW PATTERN BOOK、ドレメセミナーテキスト、各種ファッション雑誌その他随時紹介。

■オフィスアワー・研究室

峯岸：火曜日（16時～17時）本校舎3階 1031教室

齋藤：火曜日（16時～17時）本校舎3階 1036教室

■備考

授業内容、作品・課題の返却時期は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 峯岸	台衿付きシャツ／パターンメーキング	予習：布の準備	30分
2回 峯岸	台衿付きシャツ／パターン作成～裁断 企業研修	復習：作業の確認	30分
3回 峯岸	台衿付きシャツ／縫製 産学クリエイティブ／資料収集、グループ分け	復習：作業の確認	60分
4回 峯岸	台衿付きシャツ／縫製～仕上げ・提出 産学クリエイティブ／グループテーマ・コンセプト相談	復習：作業の確認	60分
5回 峯岸	カジュアルウェア／デザイン考案～パターンメーキング 産学クリエイティブ／グループテーマ・コンセプト決定	予習：リサーチ・デザイン考案	60分
6回 峯岸	カジュアルウェア／トワル作成～パターン修正 産学クリエイティブ／デザイン考案	予習：パターンの確認 復習：デザイン考案	60分
7回 峯岸	カジュアルウェア／裁断～縫製 産学クリエイティブ／素材選択 スワッチ作成	復習：作業の確認	60分
8回 峯岸	カジュアルウェア／縫製 産学クリエイティブ／グループボード作成	復習：パターンの確認	60分
9回 峯岸	カジュアルウェア／縫製 産学クリエイティブ／デザインプレゼンテーション	復習：作業の確認 予習：プレゼンテーション準備	60分
10回 峯岸	カジュアルウェア／仕上げ、提出 産学クリエイティブ／パターンメーキング	復習：縫製仕様書等作成 復習：パターンの確認	60分
11回 峯岸	産学クリエイティブ／トワル作成	復習：作業の確認	60分
12回 峯岸	産学クリエイティブ／トワルチェック～修正	復習：作業の確認	60分
13回 峯岸	産学クリエイティブ／トワルチェック～修正、サンプル作成 産学マーケティング	復習：作業の確認	60分
14回 峯岸	産学クリエイティブ／実物製作 産学マーケティング	復習：作業の確認（夏休み宿題含む）	60分
15回 峯岸	産学クリエイティブ／実物製作	復習：作業の確認	60分

服飾造形・実習 II

峯岸 恵、齋藤 宣

服飾造形科 2年 通年(後期) 必修 (16単位 演習／実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 峯岸	産学クリエイティブ/プレゼンテーション資料作成・審査会 産学マーケティング	予習: プrezentation準備	60分
2回 峯岸	産学クリエイティブ/動画作成、ファッションショー準備 産学お直し実習	復習: 作業の確認	60分
3回 峯岸	テーラードジャケット/ パターンメーキング 産学お直し実習 帆上げ実技	復習: 作業の確認	30分
4回 峯岸	テーラードジャケット/ パターン作成～裁断 産学マーケティング	復習: 作業の確認 復習: プrezentation資料作成	60分
5回 峯岸	テーラードジャケット/ 縫製 産学マーケティング	復習: 作業の確認 復習: プrezentation資料作成	60分
6回 峯岸	テーラードジャケット/ 縫製 産学マーケティング	復習: 作業の確認 復習: プrezentation資料作成	60分
7回 峯岸	卒業制作/テーマ・コンセプト・デザイン考案・素材選択、 産学マーケティング	予習: リサーチ・デザイン考案 復習: プrezentation資料作成	60分
8回 峯岸	卒業制作/パターンメーキング 産学マーケティングプレゼンテーション	予習: 素材探し 予習: プrezentation準備	60分
9回 峯岸	卒業制作/パターンメーキング～トワル作成	復習: パターン確認、トワル確認	60分
10回 峯岸	卒業制作/トワル作成、フィティング、修正	復習: パターン修正	60分
11回 峯岸	卒業制作/パターン作成、縫製仕様確認、サンプル作成	予習: 縫製仕様確認	30分
12回 峯岸	卒業制作/実物製作	復習: 作業の確認	30分
13回 峯岸	卒業制作/実物製作	復習: 作業の確認	30分
14回 峯岸	卒業制作/ 実物製作	復習: 作業の確認	30分
15回 峯岸	卒業制作/ 作品提出、トータルコーディネイト 、審査ボーナス作成、ポートフォリオ	復習: 仕様書作成、作品見直し	30分

立体構成（ドレーピング＆パターンメーキング）実習

中根 歩

服飾造形科 2年 前期 必修 (1単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

ドレーピングは服の形をイメージする・作り上げるのに最も直感的な方法であり、基本的なスキルを身につけることで自身の創造力の底上げが可能になります。企業パタンナー・フリーランスパタンナーとしての経験を活かし、発想を具現化するための実践的な演習を行います。

■到達目標（学修成果）

服の構造を理解し、シルエットを形作れるようになることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、卒業に必要な科目です。

基礎技術を学ぶことで服飾造形の際に平面・立体の両方からのアプローチが可能となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の授業ないで課題のチェックをし、個人に合わせたレクチャーを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業に合わせてプリントを配布する。

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業終了後に質疑応答の時間を設ける。

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中根	地直し説明・ブラウス前身頃のドレーピング	予習：シラバスを読む	30分
2回 中根	ブラウス前後頃のドレーピング	予習：シーチングの地直し	30分
3回 中根	ウェストダーツの作り方	復習：授業内容を整理しまとめる	30分
4回 中根	身頃のトワル修正とドラフティング	復習：授業内容を整理しまとめる	30分
5回 中根	ドラフティング後の身頃トワルの再組み立て・裾上げ	復習：授業内容を整理しまとめる	30分
6回 中根	袖のラフパターン作成	予習：袖製図の手順を確認	30分
7回 中根	袖付け	予習：シーチングの地直し	30分
8回 中根	身頃・袖のトワル修正とドラフティング	復習：授業内容を整理しまとめる	30分
9回 中根	衿付け	予習：シーチングの地直し	30分
10回 中根	ミシン縫い	予習：ミシン縫いに必要な準備	30分

卒業制作

峯岸 恵、斎藤 宣

服飾造形科 2年 後期 必修 (4単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

卒議場制作は、2年間で学んだすべての知識や技術、感性の集大成である。

各自のテーマに基づき、デザインと素材について検討しながらパターン・縫製テクニックなどを考慮し、応用の技術を修得する。クリエイションや技術力を高めた1~2体の作品を制作する。

■到達目標（学修成果）

トワル制作及び実物制作を通して、クリエイティブビティー、オリジナリティーを表現できる作品制作を目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、必要な科目。卒業制作発表会でショーを行ない、2年間で学んだファッショング感覚、技術力の確認を行う。外部審査委員による審査により評価をする。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

製図、縫製仕様書、ポートフォリオ、作品は点検・採点後に返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

なし

■参考文献

ドレメ式原型、PATTERN MAKING I・II、SEMING I~IV、基礎テキスト

ドレメサマーセミナーテキスト、ドレメパターンブック、各種ファッショング雑誌、必要に応じて資料を適宜配布

■オフィスアワー・研究室

峯岸：火曜日（16時～17時）本校舎3階 1031教室、斎藤：火曜日（16時～17時）本校舎3階 1036教室

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 峯岸	トワル パターンメーキング	予習：素材探し	60分
2回 峯岸	トワル制作、トワルフィッティング、修正トワル	復習：トワル組立て	60分
3回 峯岸	トワル制作、トワルフィッティング、修正	復習：パターン修正	60分
4回 峯岸	パターン作成、縫製確認	予習：縫製確認	30分
5回 峯岸	パターン作成、縫製確認	復習：縫製確認	30分
6回 峯岸	実物制作 実物生地裁断 部分縫い、実物フィッティング	予習：生地裁断準備	30分
7回 峯岸	部分縫い、実物フィッティング	復習：部分縫い作成	60分
8回 峯岸	縫製	復習：縫製確認	30分
9回 峯岸	縫製	復習：縫製確認	30分
10回 峯岸	縫製	復習：縫製確認	30分
11回 峯岸	縫製	復習：縫製確認	30分
12回 峯岸	縫製	復習：縫製確認	30分
13回 峯岸	縫製	復習：縫製確認	30分
14回 峯岸	縫製	復習：縫製確認	30分
15回 峯岸	縫製	復習：縫製確認	30分
16回 峯岸	縫製	復習：縫製確認	30分
17回 峯岸	縫製	復習：縫製確認	30分
18回 峯岸	作品提出 作品提出、ポートフォリオ作成	復習：ポートフォリオ・仕様書作成	60分
19回 峯岸	トータルコーディネイト、審査ボード作成	予習：作品の見直し	30分
20回 峯岸	最終提出 審査会準備 ポートフォリオ提出	復習：作品の見直し	30分

アパレルCG II

齋藤 宣

服飾造形科 2年 通年(前期) 必修 (4単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッション業界のみならず、様々な業務において使われているAdobe Illustrator・Photoshopについて基礎から学んでいく。それぞれのアプリケーションソフトの関連性・特徴を基本操作から学ぶことにより、アプリケーションソフトに作らされるデザインではなく、それぞれの目的に沿ったイメージを表現できる活用方法を学ぶ。

■到達目標（学修成果）

Illustrator・Photoshopのそれぞれの基本操作と特徴を身につけることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。

Illustrator・Photoshopを効果的に使いこなし業務をスムーズに遂行する為のスキルが身につく。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	20%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

Photoshopしっかり入門

Illustratorしっかり入門

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 齋藤	オリエンテーション Illustrator（復習：配置、ペンツール）	復習：データ整理・確認	30分
2回 齋藤	Illustrator（復習：ペンツール、パスファインダー）	復習：データ整理・確認	30分
3回 齋藤	Illustrator（復習：ペンツール、文字ツール）	復習：データ整理・確認	30分
4回 齋藤	Photoshop（復習：選択ツール）	復習：データ整理・確認	30分
5回 齋藤	Photoshop（復習：色調補正）	復習：データ整理・確認	30分
6回 齋藤	Photoshop（復習：切り抜き）	復習：データ整理・確認	30分
7回 齋藤	カジュアルデザインポートフォリオ① ラフデザイン	復習：データ整理・確認	30分
8回 齋藤	カジュアルデザインポートフォリオ② イメージマップ	復習：データ整理・確認	30分
9回 齋藤	カジュアルデザインポートフォリオ③ マスク	復習：データ整理・確認	30分
10回 齋藤	カジュアルデザインポートフォリオ④ 作成	復習：データ整理・確認	30分
11回 齋藤	カジュアルデザインポートフォリオ⑤ 作成	復習：データ整理・確認	30分
12回 齋藤	カジュアルデザインポートフォリオ⑥ 作成	復習：データ整理・確認	30分
13回 齋藤	カジュアルデザインポートフォリオ⑦ 提出	復習：データ整理・確認	30分
14回 齋藤	生成AIについて①	復習：データ整理・確認	30分
15回 齋藤	生成AIについて②	復習：データ整理・確認	30分

アパレルCG II

齋藤 宣

服飾造形科 2年 通年(後期) 必修 (4単位 演習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 齋藤	クリエイティブ実習イメージボード①	復習:データ整理・確認	30分
2回 齋藤	クリエイティブ実習イメージボード②	復習:データ整理・確認	30分
3回 齋藤	映像制作について	復習:データ整理・確認	30分
4回 齋藤	クリエイティブ実習イメージ映像①	復習:データ整理・確認	30分
5回 齋藤	クリエイティブ実習イメージ映像②	復習:データ整理・確認	30分
6回 齋藤	クリエイティブ実習ポートフォリオ① ラフデザイン	復習:データ整理・確認	30分
7回 齋藤	クリエイティブ実習ポートフォリオ② イメージマップ	復習:データ整理・確認	30分
8回 齋藤	クリエイティブ実習ポートフォリオ③ 作成	復習:データ整理・確認	30分
9回 齋藤	クリエイティブ実習ポートフォリオ④ 作成	復習:データ整理・確認	30分
10回 齋藤	クリエイティブ実習ポートフォリオ⑤ 提出	復習:データ整理・確認	30分
11回 齋藤	卒業制作ポートフォリオ①	復習:データ整理・確認	30分
12回 齋藤	卒業制作ポートフォリオ②	復習:データ整理・確認	30分
13回 齋藤	卒業制作イメージボード①	復習:データ整理・確認	30分
14回 齋藤	卒業制作イメージボード②	復習:データ整理・確認	30分
15回 齋藤	ポートフォリオ 修正 提出	復習:データ整理・確認	30分

ファッションテキスタイル

赤澤 結花

服飾造形科 2年 通年 必修 (1単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

ファッションテキスタイルでは、織物についての基礎知識を学ぶ。織物の基本である「三原組織」は紙を切って経糸と緯糸を作り、「平織」「綾織」「朱子織」を手で織ってみる。紙で織った組織と既製の布を分解鏡で見比べ、基本的な織り方の知識を深める。同様に「千鳥格子」「ヘリンボーン」「タータンチェック」も紙で織ることによって、織物によるストライプとチェックの特徴と変化組織についても学んでいく。実際に卓上織機でマフラーを織ることで、織物の仕組みを理解する。また、1年次で学んだアパレル素材を復習するとともに、より実践的で新しい素材の情報を取り入れる。

■到達目標（学修成果）

織物の基本を通して、アパレル素材の知識を深める。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。アパレル素材の知識を深めることは、より充実した作品制作とアパレル企業で働くことに役立つ。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題提出物の返却時に講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じてプリントを配布。

■参考文献

テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株) テキスタイル・ツリー

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日 (16時00分～17時00分) 5201教室 (第5校舎2階)

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容(前期)	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 赤澤	紙で織る三原組織 平織、綾織、朱子織	復習：既製の生地を見る	30分
2回 赤澤	紙で織る綾織の応用 千鳥格子、ヘリンボーン	復習：ヘリンボーンまで終わらせる	30分
3回 赤澤	〃 タータンチェック	復習：仕上げる	30分
4回 赤澤	アパレル素材について	復習：ノートをまとめる	30分
5回 赤澤	マクラメの基本的なテクニック	復習：再度作ってみる	30分

回数	授業内容(後期)	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 赤澤	卓上織機でマフラーを織る 設計書の記入 整経	予習：タテ糸を用意する	30分
2回 赤澤	筒通し～綜続通し	復習：綜続通しまで終わらせる	30分
3回 赤澤	巻取り 織付け ヨコ糸準備 試し織り	予習：ヨコ糸を用意する	30分
4回 赤澤	織布	復習：できるところまで進める	30分
5回 赤澤	織布 糸の始末 仕上げ	復習：設計書を完成させる	30分

ファッション画 II

谷川 涼

服飾造形科 2年 通年(前期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

1年次で学んだ基礎を発展させ、ファッション画を描く感性と技術を養う。
マーカーを使用した着彩や様々な表現を学び、スタイル画と平絵の両方を描く力につける。

■到達目標（学修成果）

目的に応じたファッション画を表現する事ができる。素材やシルエットを的確に捉えた平絵を描く事ができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目である。ファッション画を通して、人体や衣服の構造への理解と創造性を深め、服飾造形とも大きく関連する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各課題にコメントやアドバイス等を記入する。課題の返却時にもアドバイス等を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

ファッション画。必要に応じてプリントを配布する。

■参考文献

必要に応じて適宜紹介する。

■オフィスアワー・研究室

- ・連絡先：教務課（本校舎1階）
- ・各回の授業終了後、質問等対応いたします。

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 谷川	画材の表現 マーカーの着彩方法	復習 反復練習	30分
2回 谷川	様々なポーズの表現① 重心移動ポーズの復習	復習 反復練習	30分
3回 谷川	様々なポーズの表現② 重心移動ポーズの着彩	復習 仕上げ作業	30分
4回 谷川	コンセプトに基づくデザイン① クリエイティブ授業との連携	予習 デザイン考案	30分
5回 谷川	コンセプトに基づくデザイン② クリエイティブ授業との連携	復習 仕上げ作業	30分
6回 谷川	ディティール、装飾等① ディティールからのデザイン考案	予習 資料収集	30分
7回 谷川	ディティール、装飾等② デザイン画仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分
8回 谷川	模写① コレクションから描く	予習 資料収集	30分
9回 谷川	模写② 仕上げ	復習 仕上げ作業	30分
10回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案① 様々な柄の描き方	予習 資料収集	30分
11回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案② 柄を使用したデザイン考案	復習 作業確認	30分
12回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案③ デザイン画仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分
13回 谷川	コラージュ① コラージュ作成	予習 資料収集	30分
14回 谷川	コラージュ② コラージュからのデザイン考案	復習 作業確認	30分
15回 谷川	コラージュ③ デザイン画仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分

ファッショントレーニング II

谷川 浩

服飾造形科 2年 通年(後期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	
1回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案① 様々な素材の描き方	予習 資料収集	30分
2回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案② 素材を生かしたデザイン考案	復習 作業確認	30分
3回 谷川	テーマに合わせたデザイン提案③ デザイン画仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分
4回 谷川	アイテムのデザイン提案① コートのデザイン考案	予習 資料収集	30分
5回 谷川	アイテムのデザイン提案② コートのデザイン画作成	復習 作業確認	30分
6回 谷川	アイテムのデザイン提案③ デザイン画仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分
7回 谷川	コンセプトに基づくデザイン① 卒業制作のデザイン画作成	予習 デザイン考案	30分
8回 谷川	コンセプトに基づくデザイン② 卒業制作のデザイン画作成	復習 作業確認	30分
9回 谷川	コンセプトに基づくデザイン③ 卒業制作のデザイン画仕上げ	復習 仕上げ作業	30分
10回 谷川	メンズファッション① 重心移動ポーズの模写	復習 作業確認	30分
11回 谷川	メンズファッション② 重心移動ポーズの模写仕上げ、平絵	復習 仕上げ作業	30分
12回 谷川	トラベルコーディネートの提案① コーディネート作成	予習 資料収集	30分
13回 谷川	トラベルコーディネートの提案② トラベルコーディネートの考案	復習 作業確認	30分
14回 谷川	トラベルコーディネートの提案③ デザイン画仕上げ	復習 仕上げ作業	30分
15回 谷川	トラベルコーディネートの提案④ プレゼンテーション、まとめ	復習 振り返り	30分

クリエイティブデザインII

齋藤 宣、杉山 尚子

服飾造形科 2年 通年(前期) 必修 (3単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

自ら創造する力を養い、デザインの楽しさを学びます。新しい創造は、コレクションやストリートからの情報をふまえたうえで、個々の感性や五感を通して生まれます。過去から現在に至るまでの建築、彫刻、絵画、音楽、演劇などの美しさを感じることで創造するオリジナルなデザイン。デザイナーに必要な感性を磨く。服飾造形とも連動し、時代の空気感を意識した服作りとともに進っていく。

■到達目標（学修成果）

企画やデザインの発想などの必要な感性と創造力を身に付けることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。感性を豊かにし、デザイン力を身に付けることで優れた作品制作へ繋がる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題提出物返却時に講評を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

各種ファッション雑誌など

■オフィスアワー・研究室

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

■備考

各種コンテストの開催日などにより、日程内容を変更する場合もある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 齋藤	クリエイティブデザイン実習①（アイテム研究と合同授業）	予習：コレクション雑誌閲覧	30分
2回 杉山	オリエンテーション・授業の説明 描画材の説明 鉛筆デッサン 幾何形体	予習：画題画材の準備	30分
3回 杉山	布の表現① 鉛筆デッサン	予習：画題画材の準備	30分
4回 齋藤	クリエイティブデザイン実習②（アイテム研究と合同授業）	予習：コレクション雑誌閲覧	30分
5回 杉山	布の表現② 鉛筆デッサン	復習：作業の確認	30分
6回 杉山	立体構成①	予習：画材の準備	30分
7回 杉山	立体構成②	予習：画材の準備	30分
8回 齋藤	クリエイティブデザイン実習③（アイテム研究と合同授業）	予習：コレクション雑誌閲覧	30分
9回 杉山	立体構成③	予習：画材の準備	30分
10回 杉山	学生クロッキー	予習：画材の準備	30分
11回 齋藤	クリエイティブデザイン実習④（アイテム研究と合同授業）	予習：点検の準備	30分
12回 杉山	人体クロッキー	予習：画材の準備	30分
13回 齋藤	クリエイティブデザイン実習⑤（アイテム研究と合同授業）	予習：点検の準備	30分
14回 齋藤	ポートフォリオ 表現テクニック① デザイン画	予習：ディテールデザインの確認	30分
15回 齋藤	ポートフォリオ 表現テクニック② デザイン画	予習：素材表現方法の研究	30分

クリエイティブデザインⅡ

齋藤 宣、杉山 尚子

服飾造形科 2年 通年(後期) 必修 (3単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 齋藤	クリエイティブ実習イメージボード①	予習: コンセプトの確認	30分
2回 齋藤	クリエイティブ実習イメージボード②	予習: デザイン考案	30分
3回 齋藤	プリント柄制作(P C)	予習: デザイン考案	60分
4回 齋藤	卒業制作のデザイン① (アイテム研究と合同授業)	予習: コレクション雑誌閲覧	30分
5回 門馬	異素材研究特別講義「ジュエリー実習」	復習: 作品の撮影	30分
6回 村松	アートディレクションについて①	予習: 卒制デザイン画考案	90分
7回 齋藤	卒業制作のデザイン② (アイテム研究と合同授業)	予習: コレクション雑誌閲覧	30分
8回 村松	アートディレクションについて①	予習: 卒制デザイン画作成	90分
9回 峯岸	卒業制作のデザイン テキスタイル (アイテム研究と合同授業)	予習: 素材の市場調査	30分
10回 高橋	異素材研究特別講義「皮革小物実習」	予習: 素材の準備	30分
11回 峯岸	卒業制作のデザイン テクニック (アイテム研究と合同授業)	予習: 素材の市場調査	30分
12回 齋藤	卒業制作のデザイン画を描く①下書き	予習: コレクション雑誌閲覧	30分
13回 齋藤	卒業制作のデザイン画を描く②下書き確認	予習: コレクション雑誌閲覧	30分
14回 齋藤	卒業制作のデザイン画を描く③着彩	予習: コレクション雑誌閲覧	30分
15回 齋藤	卒業制作ポートフォリオについて	復習: ポートフォリオ制作	120分

パターンメーティング演習

峯岸 恵

服飾造形科 2年 通年 選択必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

パターンメーティング技術検定試験対策の授業である。パターンメーティング技術検定試験は、アパレル業界の中でパターンメーティングを行う際の基礎知識と技術の試験である。受験対策として、繰り返し模擬試験を行う。

■到達目標（学修成果）

「パターンメーティング技術検定試験3級」の取得を目的とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択必修科目のため、卒業に必要な科目。既製服の概念としての基礎知識を理論的に理解し、ファーストパターンから工業パターンに関する専門知識と技術を向上させる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

パターンメーティング技術検定試験3級の模擬試験理論・実技を繰り返し行い、その都度、授業時間内で解答解説を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

なし

■参考文献

パターンメーティング技術検定試験3級ガイドブック
パターンメーティング技術検定試験3級試験問題解答・解説集

■オフィスアワー・研究室

火曜日 (16時~17時) 本校舎3階 1031教室

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容(前期)	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 峯岸	パターンメーティング技術検定試験3級について、ガイドブック読み合わせ説明	予習: ガイドブック確認	30分
2回 峯岸	筆記試験対策①(模擬試験)	復習: 模擬試験結果の確認	30分
3回 峯岸	筆記試験対策②(模擬試験)	復習: 模擬試験結果の確認	30分

回数	授業内容(後期)	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 峯岸	実技試験対策①-1 パターンメーティング・トワル組立て	予習: シーチング地直し 復習: パターン・トワルの確認	40分
2回 峯岸	実技試験対策①-2 パターンメーティング・トワル組立て	予習: シーチング地直し 復習: パターン・トワルの確認	40分
3回 峯岸	実技試験対策②-1 パターンメーティング・トワル組立て(模擬試験)	予習: シーチング地直し 復習: パターン・トワルの確認	40分
4回 峯岸	実技試験対策②-2 パターンメーティング・トワル組立て(模擬試験)	予習: シーチング地直し 復習: パターン・トワルの確認	40分
5回 峯岸	実技試験対策③-1 パターンメーティング・トワル組立て(模擬試験)	予習: シーチング地直し 復習: パターン・トワルの確認	40分
6回 峯岸	実技試験対策③-2 パターンメーティング・トワル組立て(模擬試験)	予習: シーチング地直し 復習: パターン・トワルの確認	40分
7回 峯岸	パターンメーティング検定試験準備 筆記試験、実技試験の確認	復習: 検定試験の準備	30分

アパレルCAD

菊地 正哲

服飾造形科 2年 通年(前期) 選択 (4単位 演習)

■授業の方針・概要

授業担当者のパタンナーとしての実務経験とパタンナーへの技術指導の実績を活かし、アパレルCADシステムの基本的な活用法を習得することを目指す。特にこれからの中IT社会に対応したスキルを身につける為、PCの基本操作とデータ管理の方法、及び3Dの基本的な知識と操作も学ぶ。

■到達目標（学修成果）

アパレルCADシステムを使い、パターンメーキングの基本操作と活用法の習得を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択科目のため、卒業のために必要な科目ではなく、アパレル業界においてのCADシステムの必要性とツールとしての基本操作を理解する科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の中で、質問に答えてその都度、解決していく。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

PATTERN MAKING I・II・III

■参考文献

CREA COMPO② オペレーションマニュアル
パターンメーキング技術検定試験ガイドブック

■オフィスアワー・研究室

月曜日 (16時20分～17時00分) 6101教室 (第六校舎1F CAD室)

■備考

状況により内容変更有り

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 菊地	CREA COMPO②システムの説明	予習: CADとは、を確認する。	30分
2回 菊地	ボディ原型デジトレース	復習: トレース操作手順を整理する。	30分
3回 菊地	Pattern Magic基礎	復習: ショートカットキーを整理する。	30分
4回 菊地	パターンメーキング基本操作①	予習: 展開方法を確認しておく。	30分
5回 菊地	パターンメーキング基本操作②	復習: 項目、機能を整理する。	30分
6回 菊地	パターンメーキング基本操作③	復習: 項目、機能を整理する。	30分
7回 菊地	ダーツ方向移動法と展開①	予習: 展開方法を確認しておく。	30分
8回 菊地	ダーツ方向移動法と展開②	復習: 項目、機能を整理する。	30分
9回 菊地	ダーツ方向移動法と展開③	復習: 項目、機能を整理する。	30分
10回 菊地	スカート原型作成	予習: 展開方法を確認しておく。	30分
11回 菊地	スカート パターンメーキング①	予習: 展開方法を確認しておく。	30分
12回 菊地	スカート パターンメーキング②	復習: 項目、機能を整理する。	30分
13回 菊地	3Dによるスカートのデジタルツール作成	復習: 項目、機能を整理する。	30分
14回 菊地	スカート工業用パターン作成	予習: 工業用パターンを確認する。	30分
15回 菊地	基本操作まとめ	復習: 項目、機能を整理する。	30分

アパレルCAD

菊地 正哲

服飾造形科 2年 通年(後期) 選択 (4単位 演習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 菊地	ブラウス パターンメーキング①	予習:項目、機能を整理する。	30分
2回 菊地	ブラウス パターンメーキング②	復習:項目、機能を整理する。	30分
3回 菊地	ブラウス パターンメーキング③	復習:項目、機能を整理する。	30分
4回 菊地	3Dによるブラウスのデジタルツール作成	復習:項目、機能を整理する。	30分
5回 菊地	ブラウス 工業用パターン作成	予習:工業用パターンを確認する。	30分
6回 菊地	パンツ パターンメーキング①	予習:展開方法を確認しておく。	30分
7回 菊地	パンツ パターンメーキング②	復習:項目、機能を整理する。	30分
8回 菊地	3Dによるパンツのデジタルツール作成	復習:項目、機能を整理する。	30分
9回 菊地	パンツ 工業用パターン作成	予習:工業用パターンを確認する。	30分
10回 菊地	ワンピース パターンメーキング①	予習:展開方法を確認しておく。	30分
11回 菊地	ワンピース パターンメーキング②	復習:項目、機能を整理する。	30分
12回 菊地	ワンピース パターンメーキング③	復習:項目、機能を整理する。	30分
13回 菊地	3Dによるワンピースのデジタルツール作成	復習:項目、機能を整理する。	30分
14回 菊地	ワンピース 工業用パターン作成	予習:工業用パターンを確認する。	30分
15回 菊地	パターンメーキングまとめ(試験)	予習:項目、機能を整理する。	30分

ファッションビジネスナレッジ

齋藤 宣

服飾造形科 2年 通年 選択必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本授業ではファッションビジネスの構造を様々な観点から捉え、ファッション産業全体像のより深い理解と共に、ファッションビジネス能力検定試験2級対策を実施してまいります。

服飾造形やファッションテクノロジーの受講授業内容を背景にしつつ、過去問題により、個々の弱点を確認ながら、ファッションビジネスや服飾造形に関して、必要な「知識」を修得してまいります。

■到達目標（学修成果）

本授業を履修し、学修の目標を達成できた結果、ファッション産業界全体像への広さ・深さを増した理解により、各自の業界における方向性の掌握・役割の捉え方の視点が修得できます。「ファッションビジネス能力検定試験2級」の合格を目的としています。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、服飾造形科の選択必修科目として、卒業認定に必要な科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

去問題をテーマごとに実施し、演習を繰返し、解答を照合しながらフィードバックします。

分からぬ用語などもピックアップし、弱点補強を行なっていきます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『ファッションビジネス2級』（新版）（ファッションビジネス能力検定2級 公式テキスト）

日本ファッション教育振興協会/編

■参考文献

配布資料

ファッションビジネス能力検定2級過去問題

■オフィスアワー・研究室

毎週：曜日（16時00分～17時00分） 本校舎3階1036教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもあります。

■授業計画

回数	授業内容（前期）	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 齋藤	オリエンテーション／ファッションビジネス知識／過去問題実施/解答	FB知識 演習ホームワーク	30分
2回 齋藤	ファッションビジネス知識／弱点把握と強化	FB知識 演習ホームワーク	30分

回数	授業内容（後期）	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 齋藤	ファッションビジネス知識／弱点把握と強化	FB知識 演習ホームワーク	30分
2回 齋藤	ファッションビジネス知識／弱点把握と強化	FB知識 演習ホームワーク	30分
3回 齋藤	ファッション造形知識／演習問題と解説	造形知識 演習ホームワーク	30分
4回 齋藤	ファッション造形知識／演習問題と解説	造形知識 演習ホームワーク	30分
5回 齋藤	検定過去問題実施と解答①	過去問題 復習	90分
6回 齋藤	検定過去問題実施と解答②	過去問題 復習	90分
7回 森下	ファッションビジネス知識／計数①	計数知識 演習ホームワーク	60分
8回 森下	ファッションビジネス知識／計数②	計数知識 演習ホームワーク	60分

色彩論 II

桑野 恵美

服飾造形科 2年 後期 選択 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

色彩の基礎を理解した上でファッショング業界での色彩の応用力を講義と演習で学習する。

授業担当者は、各分野に落とし込んだ色彩提案を行う、カラーコンサルタント会社での実務を通じて

感性に頼った色の考え方ではなく、客観的な視点でビジネスに通用する色の考え方や手法についての理解を目指す。

■到達目標（学修成果）

ファッショング色彩能力検定試験2級（1月実施予定）の受験を前提とし、合格を目標とする。

ファッショング業界の企画から流通にいたるまでの実務で、目的に合った効果的な色選びができる知識の習得を目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

色彩学IIは、ファッショング業界での色彩実務が学べ、それを活用していくことができる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

・過去問題はポイント箇所を中心に解説を行います。問題集は、必要であれば解説を行います。

・カラーワークの課題について集めた場合は、個々にコメントを入れて返却しますが、同時に全体に向けての講評をします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	30%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	20%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

「ファッショング色彩[II]」 財団法人 日本ファッショング教育振興協会

「ファッショング色彩能力検定試験2級問題集」 財団法人 日本ファッショング教育振興協会

■参考文献

適宜アンスします。

■オフィスアワー・研究室

授業前後の時間で質問等対応します。

■備考

教科書、問題集、配色カード（1年次使用）、はさみ、のりは毎回、準備してください。

各回の授業の順番・内容は変更になる場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 桑野	色名／光と色	色名の効果／光による色の見え方 テキスト確認／該当ページの問題を解く	60分
2回 桑野	照明による色の再現性／配色技法①（流行配色）	照明による見え方の違い／配色効果 テキスト確認／該当ページの問題を解く	60分
3回 桑野	色覚・色彩の知覚的効果／配色技法②（流行配色・その他の配色）	視覚と色の知覚的効果／配色技法 テキスト確認／該当ページの問題を解く	60分
4回 桑野	色の表示／色見本とカラーコード／調和の技術	色の表示の目的と意味 テキスト確認／該当ページの問題を解く	60分
5回 桑野	色彩調和論／配色の応用	色彩調和論とその応用 テキスト確認／該当ページの問題を解く	60分
6回 桑野	ファッショングイメージとカラーファッショング 産業における色彩計画①	イメージ配色／企画・生産段階の色彩ポイントの確認 該当ページの問題を解く	60分
7回 桑野	ファッショング産業における色彩計画②	段階における色彩ポイントの確認 該当ページの問題を解く	120分
8回 桑野	過去問題のフィードバック／総復習	苦手な箇所を本文で確認する 問題集を繰り返し解く	120分

コミュニケーションスキルⅡ

森下 公雄

服飾造形科 2年 前期 選択必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

コミュニケーションにおける会話にての「伝える」「きく」ということを理解する。

「相手を理解する」、「自分を知つてもらう」といったことを認識した上で、「説得」と「傾聴」のスキルを身につける。プレゼンテーションの目的である、「相手が納得する提案」を実践するための手法を体系的に理解する。

■到達目標（学修成果）

ファッショナビジネスにおいて、接客／販売／営業、企画プレゼンなどで使用するコミュニケーションスキルを習得する。自身のキャリアビジョンを他者にプレゼンテーションし理解してもらう。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッショナビジネスだけではなく、対人関係の良好化するコミュニケーションスキルを高める。

他社の意見を受け容れ、自身の意見を理解してもらう、双方向の意思疎通を企画提案などで活用できるようになる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

講義内でディスカッション形式を取り入れ、各自の参画状況を評価。

講義内でロールプレイング（発表演習）を取り入れ、知識だけではなくスキルを評価。

9回目にプレゼンテーションの準備、10回目においてプレゼンテーションを実施し評価。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	20%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

講師作成の資料

■参考文献

「スティーブ・ジョブズ 驚異のプレゼン 人々を惹きつける18の法則」 カーマイン・ガロ 井口耕二訳 日経BP社 2010

■オフィスアワー・研究室

講義終了後、質問や相談に対応。その他メールでの問い合わせは随時対応。

■備考

講師作成の資料に基づき講義、必要資料は適宜配布。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 森下	コミュニケーションスキルの必要性理解 (ビジネス環境理解)	復習：キャリアビジョンをイメージする	30分
2回 森下	第一印象向上の必要性理解 (あいさつと表情)	笑顔、アイコンタクトのあいさつ、会話の実践	30分
3回 森下	「気配り」と「心配り」ある行動 (相手のことを想う)	復習：気配り心配りある行動の実践	30分
4回 森下	相手を理解する (「きき方」：3つのきくと質問の理解)	復習：傾聴：質問の活用	30分
5回 森下	相手に伝える (「伝え方」：3Vの理解)	復習：ノンバーバルコミュニケーションの実践	30分
6回 森下	相手に提案する (相手視点の提案を考える)	復習：言葉の言い換えをする	30分
7回 森下	プレゼンテーション技法① (プレゼンテーションの原則)	復習：3段構成で話すことを心がける	30分
8回 森下	プレゼンテーション技法② (共感/感動する話し方)	予習：自分の感動体験を語る	30分
9回 森下	自己紹介 (仲間のことをプレゼンする)	予習：仲間の長所理解	30分
10回 森下	セルフプレゼンテーション (自身のビジョンを発表する)	予習：発表準備	60分

プレゼンテーションII

赤川 順子、齋藤 宣

服飾造形科 2年 前期 選択必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

アパレル業界で、ブランドを発表している経験を生かし、プランニングのコアとなるコンセプト、ターゲット、トレンド、シーズン性を考慮しながら、アパレルブランドのプランニング的演習を行い、プレゼンテーションによって完結させる。

■到達目標（学修成果）

ファッショングループ分野をテーマに基づいてストーリーを組み立て、ビジュアル化し、発表する力を取得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要とする科目。表現者として、社会で必要とされる言葉とビジュアルでの伝達力を確立する。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーションの結果を講評、提出物はコメントを加えた後に学期中に返却。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

赤川…授業終了後、質問等対応する

齋藤…毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤川	オリジナルブランド（プレゼンテーションの本質を理解）	予習：マーケットリサーチ	30分
2回 赤川	オリジナルブランド（プランシート作成、アイテム展開考案）	復習：展開をまとめる	60分
3回 齋藤	オリジナルブランド（P C作業）	復習：P C作業	30分
4回 齋藤	オリジナルブランド（P C作業）	復習：P C作業	30分
5回 齋藤	オリジナルブランド（資料作成）	復習：P C作業	30分
6回 赤川	オリジナルブランド（デザイン、コーディネート構成確認）	復習：デザイン確認	60分
7回 齋藤	オリジナルブランド（資料作成）	復習：P C作業	30分
8回 齋藤	オリジナルブランド（資料作成）	復習：P C作業	60分
9回 赤川	オリジナルブランド（コーディネートチェック、資料作成）・ プレゼンテーション準備	復習：コーディネート確認	60分
10回 赤川	プレゼンテーション	予習：プレゼン原稿考案	60分

特別講義 II

峯岸 恵

服飾造形科 2年 通年(前期) 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

年間を通じて、ファッショントレンドや企画立案、技術的な部分までの講義を聞き、常に最新の知識や技術を学ぶことを目標とする。知識向上と業界人が考える物作りの考え方を修得する。

■到達目標（学修成果）

服飾造形IIの授業と連携しながら、学内では学べないファッショントレンドや企画立案、技術的な部分までの講義を聞き、常に最新の知識や技術を学ぶことを目標とする。知識向上と業界人が考える物作りの考え方を修得する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、卒業に必要な科目。将来の就職に向けて仕事を理解するために必要である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

講義ごと聴講した後にレポート等を提出させる。点検後に返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じて資料を適宜配布する。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応する。

■備考

外部講師による授業なので、内容や時間等は、先生により変更がある。

■授業計画

回数	授業内容(前期)	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 外部	コレクショントレンドセミナー	復習 レポート課題	30分
2回 外部	現代ファッショントレンドセミナー	復習 レポート課題	30分
3回 外部	副資材について(YKKセミナー)	復習 デザイン課題	30分
4回 外部	ジュエリーの知識	復習 レポート課題	30分
5回 外部	サスティナブルファッショントレンドセミナー	復習 レポート課題	30分

回数	授業内容(後期)	準備学修	
		具体的な内容(予習・復習等)	必要時間
1回 外部	クリエイティブなデザインの考え方	復習 デザイン課題	30分
2回 外部	皮革の扱い方(演習を含む)	予習 デザイン考案	30分
3回 外部	ニューヨークコレクショントレンドセミナー	復習 レポート課題	30分

中国語会話

盧 繁華

服飾造形科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

まずは中国語の「発話」から学習します。正確な発音や中国語式スペリングをしっかりとおさえてから、文の構造及び基礎文法文型と慣用語句を学びます。聴く、話す、書くという形式で授業を進めます。

■到達目標（学修成果）

話せる、聞き取れる中国語会話力を身につけることと日中翻訳もできる目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、職場にて必要な場合に対応できる一つの語学技能となります。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内と授業外の指定小テストがあり、期末テストの成績と合算して総合成績評価とします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『はじめよう楽々中国語』（白水社）

■参考文献

学内の図書館にある各種類の辞典、週刊新聞の『中文導報』等を利用します。

■オフィスアワー・研究室

毎週月曜日14:30～16:15までの時間帯は大学研究棟の6030号室にいます。

■備考

無し

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	第1課、①中国語のスペリングのしくみ、②母音の種類	第1課の母音種類の発声練習	30分
2回 盧	第2課、①中国語のスペシャルの表記法、②子音種類	第2課の子音種類の発声練習	30分
3回 盧	第3課Ⅰ、時の表現、何月何日？ / 何時？	第3課の数、月日・曜日、時刻	35分
4回 盧	第3課Ⅱ、第4課Ⅰ、お名前は？ / どちらの学校？	第4課の人称名詞、「是」の構文	35分
5回 盧	第4課Ⅱ、第5課Ⅰ、だれ？ / なに？ / これは～です	第5課の動詞の文、疑問詞の種類	40分
6回 盧	第5課Ⅱ、第6課Ⅰ、いる / ある /	第6課の指示代名詞Ⅰ、「有」の文	40分
7回 盧	第6課Ⅱ、第7課Ⅰ、どこにいる？ / AそれともB？	第7課の指示代名詞Ⅱ、「在」の文	40分
8回 盧	第7課Ⅱ、第8課Ⅰ、どれくらいかかる？ / するのが好きだ	第8課の形容詞の文、前置詞	40分
9回 盧	第8課Ⅱ、第9課Ⅰ、いくら？ / Aよりも～です？	第9課の比較文、手段方法の表現	40分
10回 盧	第9課Ⅱ、第10課Ⅰ、～したい / どこで？	第10課の助動詞使い方、過去形	40分
11回 盧	第10課Ⅱ、第11課Ⅰ、～できる？ / ～していい？	第11課の助動詞の各種類の表現	40分
12回 盧	第11課Ⅱ、第12課Ⅰ、～している / ～したことがある	第12課の動詞の各種の進行形	40分
13回 盧	第12課Ⅱ、会話の総合まとめ	常用品詞と慣用語の復習	50分
14回 盧	文型の総合まとめ	基本文法・文型の復習	50分
15回 盧	確認筆記テスト	セルフチェック	60分

ビジネスコンピュータ（応用）

齋藤 宣

服飾造形科 2年 前期 選択 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

現代のビジネスにおいて、コンピューターは必要不可欠なツールです。特に、Microsoft Office系アプリケーションソフト（Word、Excel、PowerPoint）は、多くの業界で広く利用されています。これらのアプリケーションの中でも、データ分析や資料作成に不可欠なExcelに焦点を当て、その操作を習得します。具体的には、計算や関数、グラフ作成などの操作を通して、ビジネスで役立つ実践的な活用方法を学びます。

■到達目標（学修成果）

Microsoft Office系アプリケーションソフトの中でも、特にExcelの操作を習得し、ビジネスにおける資料作成に必要な操作を実践できるようになります。具体的には、以下のスキルを習得し、業務効率向上に貢献できる人材を育成します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目ではありませんが、社会人に必須なPCスキルの基本を身に付ける科目である

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	20%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

よくわかる Excel2016 応用 (FOM出版)
エクセル＆ワード＆パワポ+エクセル関数 基本&便利ワザまるわかり (GAKKEN COMPUTER MOOK)

■オフィスアワー・研究室

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的な内容（予習・復習等）	必要時間
1回 齋藤	Excel 基本の復習	予習：Excel基本操作	30分
2回 齋藤	Excel 計算問題の復習①	復習：操作確認	30分
3回 齋藤	Excel 計算問題の復習②	復習：操作確認	30分
4回 齋藤	Excel 関数の復習	復習：操作確認	30分
5回 齋藤	Excel 基本的な関数の利用①	復習：操作確認	30分
6回 齋藤	Excel 基本的な関数の利用②	復習：操作確認	30分
7回 齋藤	Excel 相対参照と絶対参照	復習：操作確認	30分
8回 齋藤	Excel VLOOKUP関数とデータ検索	復習：操作確認	30分
9回 齋藤	Excel ピボットテーブルの基本	復習：操作確認	30分
10回 齋藤	Excel グラフの作成と編集	復習：操作確認	30分
11回 齋藤	Excel データの並べ替えとフィルター	復習：操作確認	30分
12回 齋藤	Excel 日付と時刻の関数	復習：操作確認	30分
13回 齋藤	Excel 条件付き集計関数	復習：操作順序の確認	30分
14回 齋藤	Excel 復習・模擬テスト	復習：模擬テストの確認	30分
15回 齋藤	Excel テスト	予習：テスト勉強	60分